

# 一年を振り返る

## 阿蘇市の2013年

ボクも、市のPR活動に  
全国駆け回ったも〜



阿蘇市のイメージキャラクター  
「あか牛くん」

「世界農業遺産認定」、「世界ジオパーク推薦決定」、「草原特区指定」など、阿蘇の文化や自然のすばらしさが日本全国、世界に認知され、阿蘇市の更なる飛躍へ向けて嬉しいニュースが多かった2013年。一方で2012年の九州北部豪雨災害から一年が経ち、復興に向けて災害に強い阿蘇市をつくることに努めた一年でもありました。

そんな、2013年の阿蘇市のできごとを写真を交えて振り返ります。皆さんはどんな一年でしたか？

3月			2月			1月				
27日	24日	9日	3日	2日	23日	17日	4日	19日	13日	6日
<p>乙姫小学校で閉校式典。 中通小学校で閉校式典。 県による黒川河川等の復旧工事が本格的に始まる。農村環境改善センターで着工式。 一の宮中学校体育館が完成。 米塚と草千里ヶ浜が、名勝及び天然記念物に指定される。(写真2)</p>			<p>阿蘇中央病院新築移転工事着工。旧阿蘇中学校跡で安全祈願祭。任期満了に伴う阿蘇市長選挙で、佐藤義興市長が無投票で3期目の当選。 碧水小学校で閉校式典。</p>			<p>消防団出初式で功労者表彰の伝達と43人に10年勤続表彰を授与。 成人式が行われ、332人が大人の仲間入り。(写真1) 高校総体と国体の2冠を達成した阿蘇中央高校女子柔道部が熊日スポーツ賞大賞に輝く。</p>				
6月			5月			4月				
8日	1日	29日	上旬	23日	9日	1日				
<p>外輪山を走る阿蘇カルデラスーパーマラソン大会が開かれ、全国から1600人超が出場し、健脚を競った。 古城地区(1区、4区)を対象に住民避難訓練を実施。222人が災害を想定し避難経路などを確認した。(写真4)</p>			<p>花の祭典「阿蘇の花ごよみ」開催。各所で花に関する催しがあり、観光客で賑う。(写真3) 石川県で開かれた国連食糧農業機関国際会議で、阿蘇地域が世界農業遺産に認定される。草原を利用した放牧や採草、野焼きなどによる農村景観保全の取り組みが高く評価された。</p>			<p>市役所が組織再編。消防団や区長も新体制でスタート。 市内小・中学校で入学式。中通小は宮地小に編入。阿蘇小が新たに開校し、43人が入学。 公共事業などからの暴力団排除を盛り込んだ合意書を阿蘇警察署と締結。</p>				



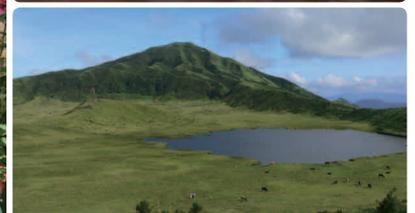
4



3



1



2



8



6



5

12日 4日 **8月** 24日 21日 12日 10日 8日 **7月**

豊肥線宮地・豊後竹田間の復旧工事が完了。約1年1か月ぶりに運行再開。JR宮地駅などで歓迎セレモニーがあり運行再開を祝った。(写真6)

子ども目線での意見を市政に生かそうと、初めての子ども議会が開かれる。

豪雨災害から1年となる同日、犠牲者を弔う豪雨災害犠牲者阿蘇市合同追悼式が営まれ、遺族など420人が参列。(写真5)

参議院議員通常選挙が執行された。阿蘇市の投票率は56.3%。全日本高校馬術競技大会に出場した阿蘇中央高馬術部が、31年ぶりの優勝。

豪雨災害で被災した一の宮高齢者センターが約1年ぶりに再開。同月にデイサービスセンターも再開し、温泉センターを含む全施設が再開。

阿蘇市を東西に横断する「豊後街道」と的の石御茶屋跡が国の史跡に指定される。

5日 **10月** 24日 13日 7日 4日 1日 **9月** 中旬

神楽フェスティバルが開かれ、県内外10団体が出演。約2千人が来場。

阿蘇地域が世界ジオパーク国内候補地として推薦決定される。市役所に推薦の連絡があり、集まった関係者が喜びを分かち合った。(写真8)

阿蘇地域が国の地域活性化総合特区「草原特区」の指定を受ける。

阿蘇市金婚式が行われる。昭和38年に結婚された80組のご夫婦が金婚を迎えた。

2年ぶりにモーモーフェスタが開かれ、あか牛のバーベキューなどを楽しむ家族連れなどで賑った。

第3回大阿蘇元気ウオークが開かれ、あいにくの雨の中、全国から750人が参加し、初秋の阿蘇路を楽しんだ。(写真7)

2年ぶりに各所で開かれた夏祭り。久しぶりの祭りに、会場は笑顔に包まれた。

6日 1日 **12月** 上旬 **11月** 18日 7日

「NHKのど自慢」の生放送が阿蘇体育館で行われ、大盛況となる。

阿蘇中岳の噴火を想定した火山防災訓練が行われ、34の関係機関が訓練に臨む。

「阿蘇の文化芸術秋の祭典」として、文化祭や子ども芸術祭などが開かれ多くの人出で賑う。

阿蘇広域消防本部新庁舎の工事の工事着工。ことし10月竣工予定。

国内初の周遊型豪華寝台列車「ななつ星in九州」が運行を開始し、県内唯一の停車駅である阿蘇駅で歓迎セレモニーが開催される。

番外編!

2013ゆるキャラグランプリの結果

902位 / 1579位

ことしも応援してね!



# 観光振興の新たな起爆剤に。 阿蘇の恵みのブランド「然」がスタート

市では、昨年秋から新しい観光まちづくりの取り組みとして、「阿蘇の恵みのブランド『然』」をスタートしました。

この取り組みは、ありのままの阿蘇の雄大な自然や人々にスポットを当て、地域おこしと誘客につながるようというもので、さまざまな分野で活躍する市民などを「然」に認定し、阿蘇の魅力を発信していきます。

11月21日に市内ホテルで開かれた発表会では、「然」に認定された市民や関係者など200人が参加し、証状の贈呈式や基調講演が行われました。認定者を代表して田中泰次郎氏（阿蘇たいちゃん農場）は「これからがスタート。知恵と汗を出して一生懸命取り組んでいきたい」と謝辞を述べました。現在、「然」の認定数は100件で、観光振興の新たなブランドとして推進していきます。

本誌では、今月号から「然」に認定された方々を毎月紹介していきますので、ぜひご覧ください。



①「然」の認定者一人ひとりに証状が手渡されました。（写真は畜産家の橋本 凌さん）  
「然」認定者のひとり、昨年3月からジオガイドとして活動している山崎まり子さんは「阿蘇は景観ばかりに目が向かいがちだが人にスポットを当てた取り組みは良いこと。自分の活動を通して『この人に会いたい』と、また阿蘇に戻ってきてもらえるように頑張りたい」と意気込みを語っていました。

②一人ひとりポスターを製作。写真は、クリエイティブディレクターの曾谷哲朗氏、文章はコピーライターの植松二郎氏が手掛けており、それぞれの個性が魅力的に表現されています。



## 熊本YMCAと災害協定締結 ～災害時に施設や備品を提供～

市と公益財団法人熊本YMCA（菅正康理事長）は11月21日、「災害時における避難所等の供給及び平常時における防災活動への協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、九州北部豪雨災害の教訓をもとに、大規模災害が発生した場合、または災害が発生する恐れがある場合に、円滑かつ効果的に被害の軽減・被災者支援を行うため、熊本YMCAが所有する保育園など阿蘇市内の6施設を避難所として提供、また救援・救助に伴う備品などを提供していただくものです。

防災活動への協力に関する協定締結調印



締結式で握手を交わす熊本YMCA堤氏（左）と佐藤市長